

高齢者保健福祉計画・第7期川越市介護保険事業計画事業評価シート

基本理念 豊かな歴史・文化にはぐまれながら、一人ひとりにふさわしく、いきいきと充実した生活を送れるまちの実現

基本方針 高齢者が生きがいを持ち、住み慣れた地域とともに健康で安心して暮らせるよう、介護予防の視点を重視し、7つの目標に取り組みすることで、川越らしい地域包括ケアシステムの深化と推進を図ります。

令和2年度所管課評価 評価基準	
A	順調（年度目標の90%以上）
B	やや遅れている（年度目標の60%以上）
C	遅れている（年度目標の60%未満）
D	当該年度予定なし
E	事業終了
-	災害等により未実施だったもの

計画期間中の取組に関する所管課最終評価 評価基準	
5	事業活動を目標以上に達成することができた
4	事業活動を目標どおり達成した
3	事業活動を目標よりやや下回った
2	事業活動を目標より下回った
1	事業を執行しなかった（できなかった）

	第7期計画の基本目標	項目	担当課	策定時目標		実績値			令和2年度所管課評価	計画期間中の取組に関する所管課最終評価	計画期間中の取組に関する所管課最終評価の理由
				現状 (平成28年度)	目標 (令和2年度)	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
1	目標1 介護予防と健康・生きがいづくりの推進	介護予防サポーター養成講座修了者数（人） ※年度新規修了者数（人）	地域包括ケア推進課	783	1,300	1,107 ※157	1,251 ※144	1,251 ※0	-	4	令和元年度から、新型コロナウイルス感染症により事業実施に影響を受けており、令和2年度は実施できなかったが、策定時目標に近い実績値となっているため、4とした。
2		介護予防の自主グループ数（箇所）	地域包括ケア推進課	167	250	187	191	191	B	4	令和元年度から、新型コロナウイルス感染症により事業実施に影響を受けつつも、平成28年と比較し、実績値が増加維持しているため、4とした。
3		健康寿命（年）	健康づくり支援課	男17.10 女19.88 (H27年)	男 17.43 女 20.18	男 17.55 女 20.08 (H29年)	男17.61 女20.17 (H30年)	男17.67 女20.32 (R1年)	A	4	健康寿命の数値は延びており、健康かわごえ推進プランなどに基づく取組等により健康づくりの推進が図れたと考えられるため。
4		老人クラブ会員数（人）	高齢者いきがい課	7,697	維持	6,955	6,790	5,919	B	4	指標である老人クラブの会員数は減少傾向であるが、老人クラブの活動の活性化を目的に、市老連主催のリーダー研修会において、会員増強に向けた話し合いの場を設けることができた。また、各単位老人クラブの活動内容を周知するために、当課窓口や公民館等で閲覧できる一覧表を作成し、支援を行った。老人クラブが行う見守り活動等の地域参加を促進するため、活動に必要な経費の一部について補助金を交付した。
5		介護支援いきいきポイント事業登録者（人）	高齢者いきがい課	151	500	449	517	508	A	4	各種説明会や交流会を予定通り開催することができ（令和2年度新型コロナウイルス感染症の影響により中止）、令和2年度からは選択肢の充実及びボランティア活動者数の増加を図るため登録者の活動できる対象施設に障害者施設を追加した。
6	目標2 日常生活を支援する体制の整備	ときも運動教室参加者数（人/年）	地域包括ケア推進課	409	520	363	365	0	-	3	令和元年度から、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、感染拡大防止のため令和2年度は実施できなかった。令和元年度の実績値より、3とした。
7		第2層協議体数（箇所）	地域包括ケア推進課	0	22	14	15	17	B	4	令和元年度から、地域住民等の集まり等活動が新型コロナウイルス感染症の影響を受けている。その中において協議体数が増加し、策定時目標に近い実績値となっているため、4とした。
8		緊急通報システム取付総数（台）	高齢者いきがい課	547	拡充	435	431	425	B	4	取付総数は減少しているが、新規取付数は増加傾向にあり、住み慣れた地域で安心して生活し続けることができるよう、ひとり暮らし高齢者等で日常生活の支援が必要となった方に対して、在宅生活の支援は行うことができたものとする。
9	目標3 在宅介護・介護連携の推進	医療・介護関係者への研修会等（回/年）	地域包括ケア推進課	2	10	3	6	1	A	4	CCNかわごえと連携し、医療・介護関係者への研修会を実施した。また、令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、医療介護関係者が集合することにリスクを伴うため、オンラインで実施し、開催することができたため、4とした。
10		市民への講演会等	地域包括ケア推進課	未実施	実施	実施	未実施	未実施	-	4	令和元年度、2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、市民への講演会等は行えなかったが、平成30年度はCCNかわごえと連携し実施したため、4とした。

	第7期計画の基本目標		項目	担当課	策定時目標		実績値			令和2年度 所管課評価	計画期間中の取 組に関する 所管課最終評価	計画期間中の取組に関する所管課最終評価の理由
					現状 (平成28年度)	目標 (令和2年度)	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
					11	目標4	認知症施策の推進	認知症サポーター養成講座受講者延べ人数(人)	地域包括ケア推進課			
12	認知症予防に関する講座等の参加者数(人/年)	地域包括ケア推進課	672	2,000	922			654	78	B	4	令和元年度から新型コロナウイルス感染症によって事業実施に影響を受け、少人数での開催が基本となっている。平成30年度は平成28年度と比較し、実績値が大きく増加しているため、4とした。
13	お帰り安心ステッカー登録者(人)	地域包括ケア推進課	39	200	180			273	359	A	5	利用者の保護に繋がるよう、公共施設、医療機関、市内大規模小売店等に周知ポスターの掲示依頼を行い、周知を行った。登録者も増加している為、5とした。
14	目標5	地域支援機能の強化及びネットワークの構築	機能強化型地域包括支援センター	地域包括ケア推進課	設置	拡充	設置	設置	設置	A	4	理学療法士の配置を継続して行えたため、4とした。
15			地域ケア推進会議	地域包括ケア推進課	未実施	実施	未実施	実施	未実施	-	4	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、会議の性質上、書面会議も困難であった為、未実施。令和元年度に初めて実施したため、4とした。
16			川越市ときも見守りネットワーク協力事業者数	福祉推進課	147	200	196	197	206	A	4	広報や啓発活動を行なった結果、協力事業者数の目標値を達成したため。
17			高齢者虐待に関する市民向け講演会	地域包括ケア推進課	未実施	実施	実施	実施	未実施	-	4	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、未実施となったが、平成30年度、令和元年度に実施しているため、4とした。
18			市民後見人養成講座修了者数(人) 実践編 フォローアップ研修	高齢者いきがい課	54 -	85 -	- 134	- 57	- 3	B	4	窓口業務やパンフレット等により成年後見制度の周知啓発に努めた。市民後見人を養成するため養成講座を実施したが、計画期間途中からは、川越市では、専門職の後見人が比較的充実しており、市民後見人の活動の場が多くないことから、市民後見人の増加だけを目的ではなく、修了者に対して、知識や技術をより深めるためのフォローアップ研修によりモチベーションの維持を図り(令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により例年に比べ研修回数は縮小)、市民後見人の受任に向けた支援を行った(修了者の中には、法人後見の支援員の活動を行う者も出ている)。
19	目標6	安心して暮らせる環境の整備	特別養護老人ホーム(定員数)	介護保険課	1,078	1,378	1,278	1,278	1,378	A	4	事業活動を目標通り達成したため。
20			在宅高齢者居宅改善費助成事業	高齢者いきがい課	実施	継続	継続	継続	継続	A	4	事業の継続により、手すりの取り付けや段差解消等の改修により、改修に必要な経費の一部を助成することで、在宅高齢者に対する要介護状態への進行を予防する一助となった。
21			ノンステップバスの導入率(%)	交通政策課	91.7	92.1	92.4	93.2	94.4	A	5	バス事業者において、順調にノンステップバスの導入が進められたため。
22	目標7	介護サービスの充実	介護相談員派遣事業(施設数)	介護保険課	7	19	11	15	-	-	3	計画的に施設数を増やしたが、コロナ禍により目標に届かなかったため。